

バストス週報

第百廿六号
昭和廿七年
七月廿七日
発行
登録名義人
森幸一
代行者
バストス週報社
C.P. 26

代
一五六十針
外部七十針
発行所
バストス
週報社
Rua PRES.
VARGAS
C.P. 112
編輯後行人
織田糸音

バストスの平和と連絡の
ために是非一家に二部を
○ 廣告は週報へ○

大同團結は先づ実践から

「打つて一丸」は遂に
夢かき



カーザス ペルナンブカリアス

FAZENDAS
ASAS PERNAMBUCANA
FILIAES EM TODO O BRASIL

の店頭にはいつも流行の
トップアが飾ってあります
ナンパウロの本店に最新
の柄が出ますと二三日た
って同じ品物が
バストスへの支店で皆様の
御来店をおまちしてゐま

〔前号〕ウニオン
II区が区制を復活して自治會へ
加入した事によつてほゞバストス
移住地は戦前の自治情態に立ち戻
つたといへる。カスカツタの一部
にも未だ同区制への参加を喜ばぬ者
もある相だが区の大勢から見れば
早晩合同する運命にあると思はれ
る。一番復活困難と思はれた自治
會が一番先に完全に近く纏つた二
とは何より御同慶の至りである
人の和を得れば何事も達成し
たきは言ふを俟たず和の基礎が
団一の運営が始まるのである。青年
ニオンにフルツラエスペランサウ
ニオンを修養修練の枠外に放置し
てよいものか父兄諸君も真剣に考
へて頂き度いものである。これら
の諸団体が完成して相扶相助の精
神を母体として甦めて大同團結と
言ひ得るのがある。嘗て畑中仙次
郎氏が産業組合長就任の頃大同團
結の大機を振りかざして一挙に經
済の原化を計つた事があり同席に
集合した百余名の人も熱心に之
に附和した百餘名の物にならなかつ
た。之は時運即ち天の時が到らな
かつた事に不運があつた。人の和
も未だそこ迄達してゐなかつた。
然るに今日に於ては爾来数々漸く
二つの難関を克服通過して最後の
大難関に對峙することとなつた。
之れは経済的にも「打つて一丸」と
期する運動である。過日フラ招集

務移転披露の席一弁久保総支配人
の口から此の問題が出た時、四
の組合代表者は異口同音に經濟団
結の必要を唱へ或る代表はそ
の時の用意の差めに数千コントの
積立金を用意して居ると云ひ或る
代表は農産物取扱手数料を毎年救
キコント聖市へ取り入れてゐるが之
を当地で取つて利用するなりは大
事業が此の地で興し得るのに嘆
じた。善い哉その言や。そこ迄未
てあるのに何故團結同が出来ない
のであらうか。
難関に幾多の理由がある。その
最大のなるものに合同せんとする団
体の力の不平均。次は人材過多。
人物の少いのを嘆ずることには同々
あるが偉材が多過ぎることゝも纏り
にくいものである。之を適當に配
する案を立てる前に可なり手近い
ところ実践の道がある筈である。

今回のパウリスミス線予選大会に長途ルッセルが追逐々応援にお出で下さりおましたのに不
拘、残念にも優勝戦に破れましたことは、熱
烈なファンの皆様御期待に添ひ得ず、何
とお詫びしてお許しを乞ふかその言葉もあ
りませぬ、これ備に吾々選手一同の未熟の
致す所汗顔に堪えませぬ、

試合経過から申しましても一方的試合で独
劣な技法も後援者の皆様には随分と物足
りぬ感をお受けになつたことと思ひますが全
員必死となり全力を傾けて戦つたことは、絶
對間違ひなく、且つ若い選手達ではありま
したが今迄のレベルを保持し得たことも比し
覚えるのであります、これは偏に諸先輩の
御指導と一般ファン諸氏の理解ある御手援
の賜物と深く感謝申上る次第であります
願わくは幾多の先輩諸氏が築き上げてく
れた名門バストスの名を、もう一度全伯的に
とるかそうと少年上りの選手を中心として三年
計画で昨年の暮れより毎日曜、欠かさず一
生果余練習を励んで参つたのであります
未だその技熟さず、不幸今回の破調を見
したが此の若い選手達をお見捨てなく今後
とも慈愛の目を氣長く見守つて傾くよう後
進にも御願ひ致すものであります

尚一言付け加へてファン諸君、諸先輩、後援
者の方々に喜んで頂き度いことがあります、
それは只今の選手達が眼前にそなたのバストス
軍に遠く及ばぬかも知れませぬが、その精神的
な面に於ては、戦前の野球精神に一步一歩進
つて旺盛なスポーツスピリットを把握しつある
事で御座います、

今回の代表戦には破れましたがバストス野球
にとつて失はれつつあった団体精神、未熟では
あるが張つた闘争心、我々青年野球が、
醸し出す幾多の薫り、野球から受ける教
訓を現に少しづつ身につけようとなつた
実行して居ることこそ、中上級までいので御座
います、
遠征地に於ける合宿の選手の状態、又練
習期間中の選手の氣概、長年選手生活
をやつた私も昔のあの懐かしさを頭
あつく思い起す程、今年の選手の態度

は身に立派でありました、試合に勝つは
かりがスポーツではなく、平常のスポーツから受
ける教訓を生かす處に真のスポーツがあ
るのでは無いでせうか、

何卒此若し将来のあり可愛い選手た
ちを守り立て倍旧の御支援ありんことを
願ひて御挨拶と致します、
七月廿一日 (バストス軍監督 西 徴)

御礼

- 練習當日
- シマカラ 服部謙一 全式百クルセロス
 - アルト 子淵 三三三三三三三三三三
 - シマカラ 本田正雄 五打
 - 中史 小沢将男 五打
 - 中史 水口バール 五打
 - 中史 ソルベツテニ 五打
 - ルセラ 渡辺精一郎 全式百クルセロス
 - 中史 吉原崎田春一 全式百クルセロス
 - アルト エ藤寛一 全式百クルセロス
 - 中史 手岡 全式百クルセロス
 - 中史 渡辺 林 全式百クルセロス
- 下巻依然として厚く御礼申上ります
オルバストス 野球選手 一同

靈驗驚くの外なし

神経痛・リウマチ・足腰肩の痛み
皮膚病一切・痔・鼻茸・助腺
僅か五六回早きは二三回でけろりと存はる
あつたようなはなし……

ワルツクス

専賣特許
紫外光線放射
高周波電波治療器
(二のホルトニ二のホルト、アコムラトル 如何なる
電歴にも使用未了)

今迄の電氣治療器とは全然違ひまして
言ツキを感せず、その効能のほひいと一度
実験なさつた方は口を極めて賞賛されま
市内で本器を用ひて神効に驚いて居る方は
沢山あります
一度実物を御らん下さい
百圓は一見に如かずと申します
バストス代理店 三原元齒科医院

今や電波の時代

不老長壽の靈器
ワカガエリの秘訣
本器常用すれば顔の皺がなくなり
六十歳の人も三十代に見える……ワシギク

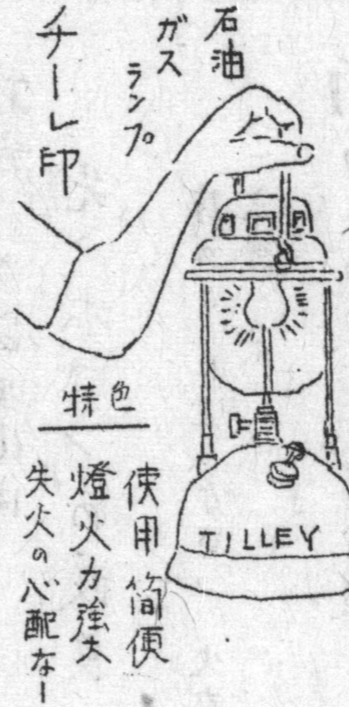
ホトトギス六月号入選句
夜逃辭被がの移民や天の川 宮崎北風

パネラ・プレッツ

(圧力をべ)



このナベは、キツと奥さん方に喜ばれる
調法を而も御飯の味より幸



木林雜貨店

既好評噴々

入植祭にぼれはなし

バストス族は祭り好き
不景気なとと言ひながら
吏居に踊りにのこ自慢
遊ばほいけた三ヶ日
集めた金が百コント
使った金も百コント

花につかつたその金で
トラットールが買へたのに
オイ、誰だいそんなやほを言ふ奴は、入植祭
は、おれたちのカルバールじやないか、年から年
中ピリク風の車働いてゐるのは何の爲のだ
と思ふ、たった年一度のこのお祭りによ、あの
娘の踊る花の舞台によ、大きなつらであめ
い、はつと花をうちてい、はつかりじやないか……
……と街角でアナンヤンたちがわく、笑っていた。
オイ、そこへ行くのはアナちゃんではないか？
誰かと思へば糸ちゃんか？、お分おのエのアナ
振りもせせしたものだ、あつはれ世界といひ度い
がココニア一のピカ一だ、一ぺんアナウンスコンク
ルといふのをやめて見たいな。だい、花もあ

新津 牛丸
出品乃玉菜の賞の一等は
わが丹精の汗の賜ゆり
日照りにも風にも堪えてイツペーの
花金色に咲き誇りけり

入植記念日俳句大会

湯たんぼ、冬服、序題 もがら留
五句句 湯婆のさめてはかなき夢なりし 南産
虎落笛野中の音はふくち伯 北斗
湯婆に愛情さめし足揃へ 紀南子
湯婆や吾れにかつての氣魄破る 和枝
虎落笛たふる玉瓶の蓋動く 春光
耳遠きわれに聞えて虎落笛 春光
虎落笛窓に捨猫戻り来し 和枝
三句句 冬服をはつと脱ぎたる毛糸ルカ茶 パウロ
たんぼの湯沸く間の肩をもよおす水ぬ 秋扇
冬服もあせて欧州移民着く 枯木
冬服の襟を立てたる小雨中 五州
帰り来ぬ娘の行く末や虎落笛 余瀧
以下……一入一句抄……

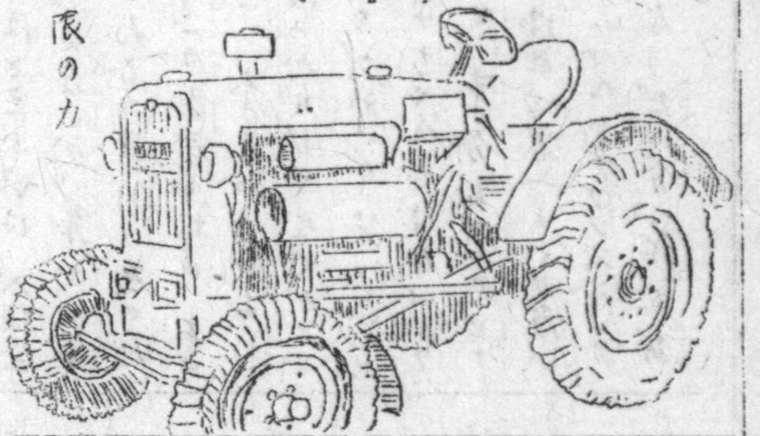
冬服の袖に手錠のちりと見え 菊子
人形にも子等の手創家の冬服を あま
生涯を冬服一つわれ老いぬ 白蘭
酔ひの足に湯婆さぐりけり 糸音
冬服に替えてネクタイ少し派手 奇峯
冬服や母をほかせし日のことが 曉風
情うすまき妻に悲しむ湯婆かな 南峯
湯婆や甕りくる 双生児 北眠
冬服の襟おつ立てて前かみみ 千早、パウロ
湯婆の水替えぬまに二三日 夢舟
冬服やニース映画は大津波 水仙子
冬着買ふニース等をべて家族連 南天子
虎落笛ランヲ引させ便り書く 修水
冬服や支那襟にてマがじホネズ 千エ

第五回バストス寫真展 入賞

一等 静物 早川君
二等 風景 渡辺パウロ君
三等 静物 長橋智君
佳作 古賀君(風景) 上ヶ島君(風景)
植松君(風景) 橋本君(風景)
小沢君(静物) 中原君(人物)
……出品総点数 六〇枚……

トラクターの
王様

M. A. N.



その精能のまほらさ
索引力のすばらしさ
少量の重油で無限の力

これこそ われらが求めてやまぬ

ああ あこがれの耕車なれ

支払方法 最初30%あと2回分納 実物一見
カミニオンも同じコミッション

バーストス市 郵便一。五

地方代理人 小池源 備

知ル人ゾ知ル!

ラノルア

絶対ニ信ヲテキル

と御評判をいたしてあります

お台所の合理化は

先づホゴンの改良から!!!

薪のように煙らない 火力が強い
燃料が安い

REI 印 石油ホコン (重油兼用) を
おすすめ致します

堅牢で体裁がよく使用簡便そして安全
宣傳の爲め特價提供

ミニコン針より
ミニコン針各種あります

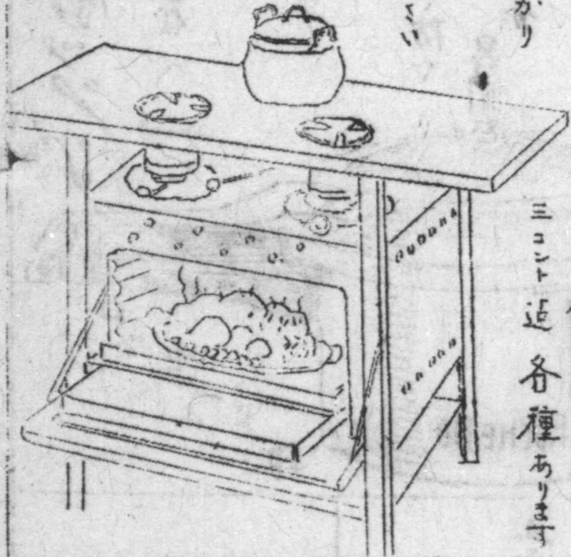
おうちで市通りがかり
の節中送寄り
実物中実送下さい

きつとやめたるす

特約
一手販賣

カカクリスツール

阪東商店



「花」で一ぱいやり下ろエキン
を承るとしようか。

たい体位は舌の廻転がひとより八〇。廻転ばかり多い
ので廻り出したら、ブレーキかけたかて中々とまりやうん。
だからこの高速度を利用してやったつもりなんやが、今年
は、又何と「花」の多かったことやら、なんぼ馬力かけたか
て次々に山のようになつて花袋を、へるごころかしま

いには天井につかへる始末や、特別會計の久輔や浅次
がオツコに詰めたら八十 あつた、馬に食はせる程あつた
な。中には賣店釣銭のニルバレーを封筒に入れて
本田マンワン様へ……あほうしなつて読めんがナ、

そこでわしアつくく考へたんやが一寸演説してあこれ
んが、重大な提議やよつてに……

「エ、此の機会を以て一言「花」の説明を上げ「花」
の性質に近代的な批判のメスを入れて、とくと作
同察を願ひ度いのであります。出演者は「花」
の多いことをハナ高々と自慢し、お若さんは美しい
娘に花を贈つてハナの下を長ずるの自由であ
りますやが之を一々高座より失礼にはやせりすれ
と……とよみ上げなけれはなうんといふことはアウサン
の身にとりまてはハナハ迷惑或至極。且つは又
これが爲めに、大功を放送を割愛せねはなうぬことにな
るのあります、これはハナし合ひを以て是非解
決をつけておかななくてはならぬ重要な事柄と思ふ
次第であります……」

「おい、おい、あそこへ亀さんが来た、あれは役者
だから、あれの意見をきいて見よう亀さん一ちよた。お
お、お、沢山も……高き一メートルだ、おれ考へでは、
や、ほり舞台で読んで貰はん困る、役者同志でも……ふ
こともある、踊り方から聞かると、もらふ一々返さねはな
うんからナ」

「そう、その事だ、役者同志で「花」の打合ひなん
がして可になる、踊りの方でも唄の方でも、お互
ひに「花」の……を……しあつて……百針も……と百針
も……一……か……ん……は……い……が……や……つ……たり……と……たり
……から……を……引……せ……つ……だ、……何……も……金……が……炊……い……ん……で……ない、……氣……分
……け……の……人……氣……を……あ……ふ……る……一……つ……の……方……法……だ……か……ら、……一……か……い……に……悪……い
……と……は……い……れ……ん……が、……お……よ……そ……を……忘……れ……ない……こと……だ……ね、……も……う……少……し
……演……説……に……近……代……性……とい……ふ……新……感……覚……を……も……つ……て……従……来……の……討……議
……と……及……く……中……心……採……り……方……が……必……要……だ……」

「花」の……は……一……か……い……人……藝……事……に……は……つ……いて……廻……る……
……か……い……い……と……待……つ……た、……お……れ……は……ほ……ん……と……う……の……花……花……末……花……わ
……か……一……ち……五……十……仙……フ……ト……に……包……み……や……せん」

「待て、今わしの演説中や君ら横合ひから
茶々入れるよつては、わしの云はんとするところを支
離、……が……な……エ……エ……そ……こ……で……ア……ウ……サン……と……致……し……ま

……

……

……

……

……

……

……

……

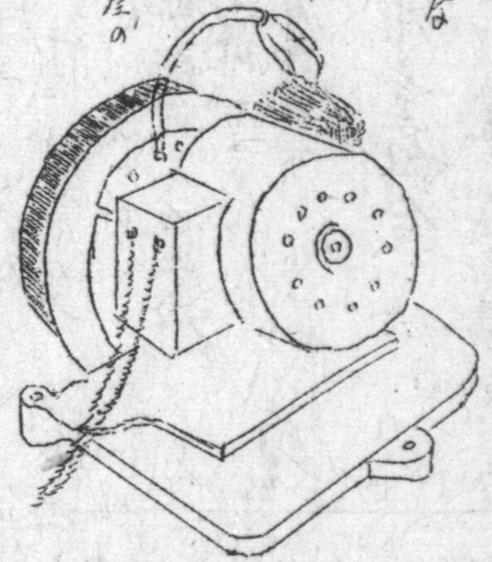
……

……

しては爰に一つの妥協案を提出いたしました。大方の皆様に御検討願ひ度いのであります。オ一、中見物象は出演者の知り合ひ、友達へとしく花を上げて頂き度い。第二、出演者に花をやり度くない時は勅進元へ金を討つて忘れなきよう。第三、それがいやなら賣店へ少し金を取りまいて下さい。第四、それもいやなら……エエ、よういわんワ。そんなひと、アナイんぐれやす。冗談は扱ておきまして、これらもろくのオン花は、養念ひには一々披露せず印刷にいたしまして御受取りに代ける事に……如何でせうか。そういたしますと、幕合にはいろいろ有差放送が出来ます。出演者の紹介、曲目の説明、演藝の解説など、その他幕合を利用して飛入りも出来ます。重要な報導等も出来ます。有意義に用いる事が出来るのであります。扱て私が放送室の一室からカンフツ席を眺めまして、つくづく感ずることは「時代の流れ」といふ目に見える空気があります。昔の野天芝居、私兵の音年であった時の入植祭の催し物、演藝はカブキばかりであったのに、時代の波と共に近年は舞踊といふものがすごい勢で捲頭して参り、猫も杓子も踊り、……で半分はエポックラムを食食いたして参りました。然るにです。どうです時代の流れは……今年はこの自慢といふものを舞台上に近へることなつて参つたのであります。本来之は音楽コンクールとも申す可きでありませうが、かたくるゝくない所での自慢と申します。管絃樂と伴奏として可愛いネーチェンヤ、アンチマンが美声とふりしほつて重なる効果を挙げるに至つたのであります。そつて、その若々しい声や姿がステージに流れマイクに流れますときは、カンフツは場内に溢れ家根により樹に上つてやんやとよみこぶのであります。オッサマがたのいかにござる島鹿うぢ、左様ござるほが始まりますと、場内あらゆる半分のカンフツに減るので御座います。これは即ち何を物語もや……アタマワルイを、之れ即ち時代の流れと申すものであります。此の目に見ゆる空気をいかに処理して行くかといふことが、此後にこのれた宿題と存する次第であります。長い演説やな、誰もさいて居らんがナ。あとはいわし、か説明してあげよう。芝居はワリの世界に踊りや音楽がくひんで来て、この方が若いもんたちには面白くて、遂に軒を貸して母屋をとられるような時代になつたんじや……そうどう……そや……

だがう方法として、音楽、舞踊、芝居と、別々に場所を合けるか又は日時をかへるかすること。野球と陸上競技と……同時に同場所で行われんように、五日連続舞踊する、カブキする、と別ければ、おらん時代が来たといふのたろ、そや……（去年は廿五年だつせ）

手軽なるな
発電機



重さ僅かに
三十七キロ

室の中でも、小屋の中でも片手で提して中ける

懐中電燈？ まさか……

ガソリンタンク四立半
十二ボルト三〇〇ワットニ五アンペア

六。燭光が一時に八灯ともる

音を消すには、エスカパメントを地中に入れろ

直結せよよく、アコムラドルを通じてもよい

馬力は僅か一馬力

農家の点燈用として理想な逸品

マルカ *MARCA*

絶対に信用の出来る マルカです

特約店
太郎田商店

出張撮影機動部

さアといへば、どこへでも直ぐとんでゆく

いつでも出動の用意をしておきます

宮崎写真館

ピラシカトバ農科大学
カンピナス農事試験場
リオクラーロパ鉄道植林場

農事視察団募集

団長 伊藤 農学士

引率者 自治会長石橋長見

往復汽車賃不要 十五名限り

ユーカーフト植林も追々と聞かされたる通りに、なり本車度追の植付樹数四十万本を突破するに至つたが、此の際新規に植林を計画する人及増植を行ふ人により一九五三年迄には是非六十万本にしたかと思ふ。此の目標は、パ線の引込線がバスター移住地にもって来たいといふ狙ひと、今一つはバスターを更生する為めには最後にして最善の方策として植林以外に良途なきが為のである。

(七頁下段へ)

Junta de Abastamento Militar de Bastos

Edital

A junta abastamento militar de Bastos, instalada no prédio da Prefeitura Municipal, para conhecimento dos interessados, por meio do presente edital, avisa os cidadãos da classe de 1933, que a Inspeção de Saúde no município de Bastos, terá início no dia 23 de agosto proximo, devendo a Junta Médica funcionar até o dia 24 de mesmo mês.

De conformidade com as instruções previstas no Plano Regional de Inspeção de Convocados, elaborado pelo Serviço de Saúde Regional, os cidadãos da classe de 1933, deverão apresentar-se na Sede da Junta Local, às 8 (oito) horas do dia 23 de agosto de 1952 munidos do respectivo certificado de alistamento militar, a fim de serem submetidos ao exame e médico para incorporação nas fileiras do Exército.

O cidadão de classe ora convocada que, por qual quer circunstancia, não seja ainda portador do certificado militar, deverá apresentar-se na junta local, antes da data da Inspeção médica a fim de receber seu certificado dessa forma os trabalhos da JMS.

Outrossim, o cidadão da classe de 1933, que deixar de apresentar-se as obrigações do presente edital, sera considerado insubmisso e incorrerá ainda sob as penalidades da Lei do Serviço Militar vigente.

Junta de Abastamento Militar de Bastos, em
30 de junho de 1952

Secretario

兵役について

予ねて市役所内兵事課から一九三三年生れの壯丁について注意があらしたので、申しせいでかきました。念のため全文を掲げて御参考になります。要点は一九三三年生れの壯丁は本年八月廿三日、廿四日午前八時市役所内兵事係、出頭して適考証明書を差し、身体検査を受けることになって居ります。まだ此の手続きのすんでいない人は早速届出なさい。詳しいことは兵事係のアルベルト・フェノ氏に直接お聞きになるとよい。之に兵役の義務を果す模範的を市民となつて下さい。兵役の義務を果した人は何かにつけて優先権を得られます。

中にはともすると兵役につくこととを誤解する人があります。大きき考へちがいで、法に違反して處罰を受けるよりと思ふことなすべからず。
(コレハ誤文ヲ、アリマセン)

少年を求め

当組合鶏卵部に十四五歳の少年一名入用です。希望者はおいで下さい

バストス産業者組合

亀田まで

上田平翁

七ころび八を記

しわん坊作

フラタク製糸建設の段

小笠原太陽堂といへば美顔クリームやボツボツで儲けた大成功者だがその頃は主人自ら製糸をかついで販路開拓に大奮した当時で、その人此甥に当る小笠原亮一といふ人が蚕種製造の技術があり何か手がかりを探してゐるといふことが判つた、平翁の長男英吉君は日伯に働いていた関係でそんな事が判つたのだが小笠原君はペンソンをやっていた英吉君も時々遊びに行つた、するとその小笠原ペンソんに辻本がころがり込んでいた辻本君はバスターの開ける頃フラタクの建築技師として移住地へ乗り込み病院やカレッジ(女子校)の方面取毀す(後ともないが)の建築士たりので古い人は存知であり、小笠原の紹介で英吉と辻本は友達になつたが、ある日辻本が云ふことには、実は僕は建築の図面は引くがほんとうの建築家ではないんだ。今度バスター移住地と云ふ所に製糸工場が出来ることになり僕が設計の命令を受けたが製糸のことを知らんので弱つと云ふ……といふのである。弱つてゐる筈、辻本の製図は日本のフラ拓本部(移住組合連合会)へ送られたが落着いてしまつたのである、本部からはもつと実際に即した建築でなくてはいかん、フラジルの蚕と云へどもまさか尻から糸を食ふわけでもないまい……

とにかくフラ拓の大将加藤さんに一ぺん會つてくれと辻本が云ふもんだからわしはフラ拓ちう所は知らんが辻本に連れられて行つて見た……と平翁がひとごとのように言ふ。加藤さん、好之氏のことである、あんたは日本で製糸家だった相だが、こんとバスターへ製糸工場を建てるについて、経験者が居なく設計が出来困つてゐる、どうだね一週内以内で設計書を作つて貰へんか、平翁は云つたわしもまるで素人ではないから作れぬこともないが一週内とは又急ぎことじゃ、わしはカタン糸を製造しとりすのでその方が暇になりましたら……と返事をすると、冗談ではない、すくに入用なんだからそんな意地のわるいことを言はずに一週内で作つてくれ給へ、その代り糸の作り賃は失礼ながら充分辨償するから是非たのむと加藤君さんが云はれるので、「それでは」といつて引きがた。

方今養鶏の躍進、養蚕の擡頭、奉仕主義のありて之れによつてバスター移住地の経済更生は一應行つた所迄行届いた感があるが、いかに永住の心と唱へて見たところ、浮動性のある製法に依存して居る限り再び往時の危殆に瀕せしむ、誰が保証出来るものでありやう。

吾人が手を枯らして植林々々と絶叫する所以は実に百年安住の地を此處に開かんとする愛郷心の發露に外ならぬ。

然るに一口に植林といつても、余りに無味乾燥では穂力がない、樂みみつ、儲けつ、進む植林をさやとは誰かが考へるところであるが、元は求むる者に途と與へて呉れるのであつて、ここにシトリオドローと呼ぶエカリ種のお現によつて一挙に此の問題は解決される。即ち此のシトリオドローの葉をランビキにかけて香料を採るのである、此度の視察旅行は香料製造の状況をも見学する樂しみがあり家庭工業としても充分成り立つものであることを、確めて来る目的をもつ。

団長に本年ピラシカバ農大を卒業した伊藤農学士伊ちボンヤンの伊藤熊三郎さんの息子さんをお預けしたから、鬼に金棒。

(六頁の下段へ)

桑元齒科医院

今般私儀自己名義のフラ

ツカにて……業許可・認可
と存りました故御報らせ
申上げます。

廿六年の長い経験と実
地の技術を以て皆様の
充分御満足の中く様な
仕事をさせて頂きます
何卒倍旧御引立御利用
あらん事を希上いたします。

不老長寿の秘密ソルクスの公開
いつて作つて下されば序目にか説明
いたします

桑元貞生

敬白

北海道出身の仲方に作らば申します
 佐藤原 陸市氏 (元ニエベラチナ居住)
 の現住所は下下下、北海道釧路市小路支組
 氏よりの手紙を拝読して居ります
 榎木 高 右

一週回と日限を切られると、うぐくして居北ぬので
 もう其の日から辻本君に説明をしつつ設計
 図製作を道の漸く一週間キリでアヲ拓へも
 行って行った。書类は早速飛行便で... 日本へ送
 られた... また、其の時分はまだ飛行便日、な
 った様だ、やはり、そのことは忘れともなく忘れて
 一意専心カクシ系にかじついで其の日... を送っ
 ていた。

すると或る日のことアヲ拓の加藤さんから便で
 少し相談があるから一寸来てくれ... といふ出頭命
 令だ、フン何かあの設計図にケチをつけるの
 ではないか、もう今度は一週間仕事は引受人ぞ
 と覚悟をして行って見ると、加藤さんは上機嫌で
 「先だっての手紙を煩はした設計書は及第した
 よ、大へんよく出来ているとの事だ、電報で直う
 に工事に着手せよと命令して来ている」といふ
 それは結構でした、此は少い、あの時のお礼
 だ、そうですか、では遠慮なく、といふ、今迄
 の後、加藤さんは感答を改め、芝居でやる、肩
 を一の振って左右の勝を少し用き、加藤に右手の
 扇子を、カウ斜にかまえて、「さて上田氏...」と
 切り出すところだ。

現地には〇〇といふ者も居るが、こゝにいふ事同の建
 築ではどうしても君のような身同家が例で監増
 して居てくれる方が確しかた、どうかね、骨折りのい
 るに一つバスターズ運行してくれまいかと相談を受けた
 即答も出来かねて後日と約し、家族とも相談する
 と、カクシ系の方も小資本では思はしく有し、この道
 で方向変更も一つの方法であらうといふ結論に達
 して数日後承諾の旨を加藤さんに申送った、
 アヲ拓からは製糸工場建築に關し囑託と命す
 といふいかのい、辞令ともうった。

上田平翁の後半に於ける輝かしい時代が、此の
 時閉幕されたのである、この位の手腕家にする
 と、たとへアヲ拓入りきりないでも、此以上の飛躍と
 する舞台に立つ運命が別に開かれたかも知れ
 ないが、昭和七年八月五日平翁は大きな夢の
 実現に大きな期待に答へる覚悟で威風堂々
 舞々の花道を中ほど迄進んで来た、大向ふより
 声あり、オトワ屋一ツ、成駒ヤ一ツ (以下次号)

放れグー

数日前よりバスターを脱出行衛不明。
 市心当りの仲方は下下下、御礼を
 致します、ワニンエ 武山貞美

尚ほ帰途都合がつけば東山農場でも視察の
 予定である、汽車便は一等往復無料であるが
 宿泊料及小遣は各自弁である
 出發日及所要日時詳細後報、希望者は取
 敢ず霜出前二氏迄申出て、いたゞき度い

- 主催 バスター市役所
- バスター自治會
- バスター産業組合

追記
 見學団お茶来る八月廿一日午後九時イアクリ祭
 某合場所市役所前、午後八時迄に下果下下

一死亡市通知並會葬御礼
 母みや儀病氣加療中の處去る七月廿五
 日午後遂に永眠致しました、生前御
 誼を賜りました方々へ此儀御報ら
 せ申上げます

尚廿六日葬儀に當りましては過分の
 御香料花輪等頂き且つ遠路中會
 葬を賜はり厚く御礼申上げます
 一々参上御言葉申上ぐる筈の處取敢申下
 岩儀 紙上 御挨拶致しす

昭和七年七月廿七日

- | | | |
|------|----|-----|
| 長男 | 松本 | 日出夫 |
| 次男 | 松本 | 春枝 |
| 長女 | 松本 | 春枝 |
| 親戚 | 江村 | 良造 |
| 友人 | 細江 | 静雄 |
| | 吹本 | 次章 |
| | 谷口 | 永章 |
| | 直道 | 永章 |
| 第三組長 | 戸田 | 源一 |